

女性研究者次世代育成プロジェクト 第2回出前講座 あなたの夢が世界を変える ～あなたの未来をデザインしてみよう～

講師 菅原 香代子 氏

元日本IBM株式会社 技術理事・日本女性技術者フォーラム 監事

平成24年11月16日（金）15：45～17：45 高松市立高松第一高等学校ムジカホール 合計143名参加

11月16日(金)高松第一高等学校ムジカホールにおいて、進路の選択の幅を広げ自身の可能性について考え、男女共同参画の観点から、将来の職場と家庭でのパートナーシップを考えてもらうことを目的に、リケジョを目指す生徒を対象に出前講座を開催しました。

昨年度に引き続き2回目となる今回は、講師に香川県高松市のご出身で高校卒業までを地元で過ごされた日本女性技術者フォーラム監事の菅原香代子氏をお招きしました。

菅原氏は、お茶の水女子大学大学院修士課程終了後、株式会社日本IBMに入社以来、約30年間システムエンジニアとして世界を舞台にご活躍されました。ご自身のお仕事と、企業でのワーク・ライフ・バランスの取組等をわかりやすくご紹介くださった後、高校生 向けに作成された配布資料を元に、自分の興味を活かすにはどんな職業がありどんな場所で働くのか、また、夢をかなえるための道筋は1つではなく様々なアプローチ法がある、諦めなければ夢はかなうということを具体的な職種と共に示してくださいました。

最後に女性の社会進出は、『日本国内はもちろん世界を舞台にこれから先どんどん広がっていく』という力強いエールに、参加された皆さんが目を輝かせていたのがとても印象的でした。『夢をあきらめない』が大切なキーワードでした。

菅原氏の講演の後、松下春奈助教、大学院生の高原加奈子さんによるご自身の研究内容の紹介、工学部 石井明教授による工学部の紹介、がありました。参加者からは、工学部と工学系進路について具体的に知ることができたと大変好評でした。



講師 菅原 香代子氏



世界に比べても、日本女性は高学歴だが社会で活躍する割合は少ない



司会は長安コーディネーター



石井教授による、工学部の紹介と進学率及び就職状況の説明。



松下助教による、研究者と教員それぞれの立場からの取組みの紹介。



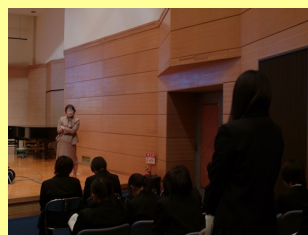
高原さんによる、大学院生の生活と自身の研究内容の紹介。



総勢143名の女子生徒が、熱心に耳を傾けてくれました。



菅原氏への質問の様子



【アンケートより】

●将来、仕事に就いてどんな生活をしたらいいのか、どんな研究ができるか、と言う話が聞けて良かった。●工学部や理学部に対する正しい理解が持てました。私は教育学部志望なのですが、ほかの学部にも興味が湧いてきました。自分の将来について、しっかり考えて行こうと思います。●理系女子は今の時代、必要とされていることが分かったし、働きやすい環境にあることがよく分かった。目標を持って取り組むことや、諦めなければ成功できるという話がとても印象に残った。●知らないことなど知ることができて良かった。工学部に興味がわいた。



講座終了後、熱心な生徒たちからの質問に答える講師の先生方



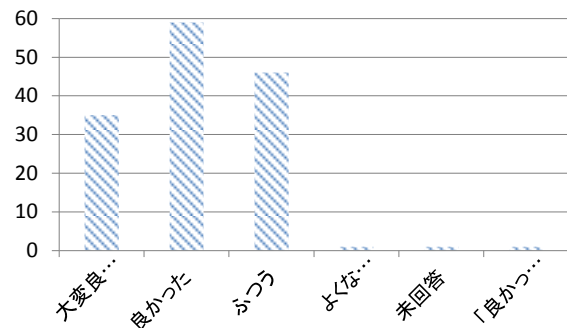
森教頭先生より閉会のご挨拶

香川大学女性研究者次世代育成プロジェクト出前講座 アンケート集計結果
「あなたの夢が世界を変える～あなたの未来をデザインしてみましょう」
日時：平成24年11月16日（金）15：45～17：45
講師：菅原香代子氏
会場：高松第一高等学校ムジカホール

アンケート回収数 143名	内訳	1年生	73名
		2年生	67名
		無記入	3名

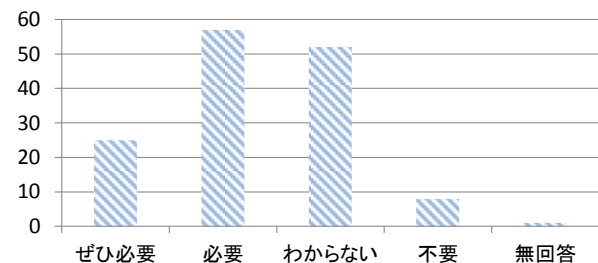
○本日の講座の感想

大変良かった	35
良かった	59
ふつう	46
よくなかった	1
未回答	1
「良かった」と「普通」の重複回答	1



○今回のような出前講座について

ぜひ必要	25
必要	57
わからない	52
不要	8
無回答	1



○本日の感想（原文のまま掲載）

理系女子ってかっこいいと思いました。私は理系に行くので、女性研究者を目指して頑張りたいです。
女だからってあきらめずにいい世の中になっているようで、うれしいです。私も何かに貢献したい。
理系女子は今の時代、必要とされていることが分かったし、働きやすい環境にあることがよく分かった。目標を持って取り組むことや、諦めなければ成功できるという話がとても印象に残った。
工学部の事を良く知らなかったけど、詳しく説明してくれ分かりやすかった。工学と言えば機械のイメージがあったけど他にも摩擦の事や自然の事やかなり様々なことに関わっていて驚いた。「理系に進むなら英語ができないと人じゃない」と聞いたことがあり、半信半疑だったけど、やっぱりコミュニケーション力が大事なことが分かった。英語は苦手だから頑張りたい。今日の講座で使われていたパワーポイントの文字をもう少し大きくしてほしいと思った。少し見にくかったです。
夢を諦めず、突っ切りようと思えました。グローバルに活躍してすごいです。
これからの進路、生き方？に参考になりました。もっと積極的に生きたいと思えました。
ゴールは一度決めたからと言って変えても構わない、そういうものだ、という言葉にすごく力をもらった。
理系に決めたけどまだよく分からないこととかあって、大学とかに行ったらどんなこととかするのかとか思っていたので、少しでも聞けて参考になった。
世界に出ることが大切だと思った。外国はすごいなあと思った。
女性が活躍できる世の中になってきているんだと知りました。英語が苦手な、しっかり勉強しようと思いました。
これからの理系女子に求められることが分かった。世界で働く女性の素晴らしさが分かった。世界で働くことに興味を持った。
工学部以外の学部の話も聞きたかったです。
色々経験されている方から話を聞くのは為になった。大学について少しわかった。
将来の事について考えるいい機会になったと思う。
自分の夢を諦めずに、頑張ろうと思えました。
工学部について良く分かった。

もっと自分の好きなことを積極的に取り組んでいきたいと思った。どんな場所でも働けるように英語をもっと日常的に話せるようになりたい。
生で、いろいろな活動をされた方の講義を聞くのは興味深かった。
理系にもっと興味を持った。もっと勉強がんばろうと思った。
女性の職場環境についてや、工学部での活動について良く分かった。
女性でも、しっかり働くことができるような社会が、昔とは違い今は作られているということを知り、とても嬉しかったです。
自分の夢の為にどこに行くべきかを少し知ることができた。自分の道はしっかり自分で選びたい。
最後の一言がグッときました。
興味があることをもっと深めて、勉強・進学したいと思えました。進路はまだ迷っていますが、今回のお話が大変参考になると思います。
今回話を聞いて自分の夢以外の分野の知識を得ることができて良かった。視野が新たに広がった。
知らないことなど知ることができて良かった。工学部に興味がわいた。
実際に行きたい進路に進んでいる人の話を聞くことで、自分の進路について詳しく考えることができたのでよかった。
知人のエピソード等も交えていて、いろんな話が聞けてイメージしやすかったです。自己満足ではなく、何かの為に学んだことを生かしたいと思いました。
現代社会の中で、女性の活躍がなくてはならないものになっていることがよく分かった。
先生の話だけでなく実際の学生さんの話を聞けたのが良かったです。イメージで思っていたこととは違ったことも知れて、広い目で将来を考える参考になったと思います。
夢を諦めず、積極的な女性になりたいと思いました。
工学部や理学部は堅いと思っていたけど、意外とそうじゃないんだな—と思った。そして、たくさんの職業があると分かった。ある職業に就くのもいろいろな道があるんだと分かった。
一つ一つの学部について説明して下さり、良かったです。助かりました。コミュニケーション能力が必要だと高校に入ってから色々な所で言われます。
どの学部に行けばどのような職業に就けるのかということが分かった。就きたい職業に就くためには、いくつかのアプローチの仕方があることを知り、もっといろいろなことを調べた方が良いな—と思った。
最後まで決して諦めないこと。自分の好きなことをすること。物事の根幹となるようなことが実は最も大事なことなんだと改めて実感できました。夢に向かって頑張り続けたいと思いました。
女性の必要性が分かった。また、自分がすごい発展していると思っていた日本が、国際的にはまだ奥手だと知って驚いた。今は女性の時代だと思われるが、今まですごい女性の努力があったんだと思った。
いつもは“理系の仕事はどのようなものがあるか”というだけで男性中心の話が多くありました。でも、菅原さんのお話は、具体的にどんな会社でそのように女性が働いているかが分かり、とても新鮮でした。
このまま理系に進んでもいいのかなあ、と思っていたが、今回の講義を聞いて理系に進んで世界でも活躍できるようになりたいと思い、頑張ろうと思えるようになった。自分が将来就きたい仕事は、今の学力では少し厳しいので諦めようとしていたけれど、夢を諦めないことが大事だと聞いて、自分にできることから努力していきたいと思った。
これから理系に進みたいと思っていたので、具体的に理系のことが聞けてよかった。
先輩の話を聞いて、なんかすごくかっこよく見えて、これからも自分も頑張ろうと思った。
世界を舞台にした話を聞かせていただけたので新鮮だった。私は農学部に興味があったので、工学部についてはほとんど知らなかったが新しい分野について知ることができて良かった。
全く工学部に興味がなかったけど、先輩方のお話を聞いて、少しずつ興味がわいてきた。ガールズパーティー楽しそう！
工学は、なにも知らなかったなので、知識を増やせてよかった。
自分の将来、進路についてきちんと向き合えて考えることができました。
自分のキャリアから学んだことなど私たちのこれからについてたくさん参考になる事が聞けてよかったです。
自分の知らなかったことを知ることができて良かった。理系に進むことでもいろいろな道があるのだと分かった。これからはもっと将来について考えようと思った。菅原先生はとてもすごい人なのだった。世界のひとと互角に仕事をするのが大切なのだと分かった。
女性の可能性を感じられてとても嬉しかった。今日の講演で自分の興味・関心が広がった。感謝しています。
すごくいい講演で自分の将来を後押ししてくれるようでした。
進路の参考になる話がたくさん聞けてよかった。資料がとても分かりやすかった。
高校の時にしとけばいい事等も聞けてすごく為になった。工学部の事はあまり知らなかったけど、今日でとても身近に思えた。
日本のIBMIにおけるWORK LIFE BALANCEの実現を聞いて、女性の社会進出がこれから先どんどん広がっていくんだと希望が持てました。研究者はコミュニケーションが大事と言われた時、「やばい！！」と思ってしまった自分がいました。だから、コミュニケーション力をつけることもしたいと思います。

女性が社会に出て働くことが、どんなに大事分かった。
今回の出前講座は、自分の進路について考え、理系の女性についても考えることができました。理系の仕事は男女平等で、能力に差がなく、収入、やりがいがあり、仕事と生活の両方を楽しむことができるなど、利点がたくさんあるのだと思いました。最後のメッセージであつたように、楽しんで、また目標を定めて頑張りたいです。
大学とか自分の将来が身近に迫っているのを感じた。3年後の自分はどんな感じだろう…って想像してみたい。
国際社会に出るのだったら、自分から前へ行かなければならないことが分かった。前に出ていくことは苦手なので克服していきたいと思う。
とても難しかった。研究がたのしそだった。
工学部はあまり興味がなかったので少し残念でした。でもいい話が聞けたと思います。
大学選択と卒業後の進路についての資料を見て面白かったし為になったと思う。
好奇心、女が稼ぐ、自分がしたいことをする(40年)
志望する学科の再認識ができた
世界って広いな。やりたいことを自分を中心として考えるのではなく、人を中心としてやりたいことを考えていた。自分はそうではない。夢みたいなことを言っていたけど、それが実現したらいいなと思った。
少し難しい話だったけれど、工学部について興味を持つことができた。
すごい先生のお話を聞けたのは、とても貴重な経験だなと思いました。
諦めずに頑張ると必ず成功するということ、夢につながる道はいくつでも自分で開けるということに感動した。その通りだなあと思いました。何にでも挑戦していきたいです。
これからの自分の進路をどう決めていくか考えさせられました。グローバル化した社会の中、自分の意見をしっかりと英語で発言することが大切になっているんだなあと感じました。
理系女子が必要になっていくことが分かった。社長にでもなれる！！頑張っていきたいと思います。
自分の将来就きたい職業につなげるにはどこの学部学科にいた方が良いのか資料を通して知ることができました。
妻の収入と夫の家事を手伝う度合いの関係など、固すぎず「へえ」と思えるようなことを聞いて楽しかったです。
今までの自分になかった考え方を持てました。
やる気が出た。
夢を諦めないことが大切だと思いました。
自分が将来なりたい職業などについて、イメージすることができた。改めて医者に将来なりたいなと思った。夢に近づけるよう努力したいです。
菅原先生の話聞き、世界に比べ日本の女性は高学歴だが、社会(職場)で活躍している割合が少ないことを知り残念に思った。世界では女性がリーダーになったり、国際的な場で活躍したりしていることを知り、印象に残った。諦めないこと、将来何がしたいかを明確にすることが大切だと思った。
最近の女性の職業のあり方が詳しく分かって良かった。昔とは随分制度もシステムも変化したんだなあと分かりました。
工学部には興味がなかったけど、すごく技術が発達する今、女性研究者は必要だと思った。
学校の授業では聞けないことも多く聞けて良かった。大学の学科の話があつたが、工学部以外の話も聞きたかった。
理系女子の活躍はすごいと思った。
将来、仕事に就いてどんな生活をしたいのか、どんな研究ができるか、と言う話が聞けて良かった。
自分の中の固定概念が変わったように思います。今まで1本しか見えてなかったのが、視野が広がり多くの道があるように思えました。
大学院の方の話は聞く機会が少ないので為になった。
英語を頑張りたいと思った。もっといろいろな角度から自分の将来を見ていきたいと思った。
楽しかった。
自分の将来を長い目で見るきっかけとなりました。
とても楽しいお話を聞かせていただいて、すごく面白かったです。先生は自分のキャリアを自信を持って語っていてとても素敵でした。
工学についてあまり知らなかったが、興味を持つことができた。
工学部や理学部に対する正しい理解が持てました。私は教育学部志望なのですが、ほかの学部にも興味が湧いてきました。自分の将来について、しっかり考えて行こうと思います。
大学での生活や研究内容の発表を聞いて、大学生生活が少し見えて良かったです。大学生活についてもっと知りたいと思いました。
具体的な内容を話していただき、とても分かりやすかった。

女性の研究者でも、すごく高い役職に就いたり、自分の好きな研究をできたりするのがよく分かりました。
大学について詳しく分かったので良かったです。
外国の企業や産業は日本より発展していてすごいと思った。こういうところで働けるようになりたいと思った。先生は素晴らしい経歴でこういう仕事もあるんだと思った。
何を伝えたいのか分からなかった。
先生の人生について聞ける部分もあり良かった。
貴重なお話が聞けて良かった。少し声が聞き取りづらかった。
映された字やグラフが小さく何を書いているのか分かりにくかった。
女性が社会で活躍できるようになったということが知れた。
社会に出たら女も男も関係なく働けていけるというのはとても素晴らしいと思いました。
様々な分野からの関わり方があるので、よく調べてこれからの進路を考えようと思いました。
理系の企業についてあまり調べたい、詳しくお話を聞いたことはなかったので、初めて聞くことが多くとても楽しかったです。日本は女性があまり活躍できていないということにとっても驚きました。私も世界の人と関わりを持てるようにしたいので、英語も頑張って勉強して自分の経験も増やしていきたいです。
自分の将来を考える上で、貴重なお話が聞けて良かったです。
夢を持って頑張りたい。
詳しい数字での情報が嬉しかったです。暗い話しかニュースでは聞かないので良かったです。
様々な分野、会社のトップに女性が増えていると聞いて驚いた。
実際にグローバル社会で技術者として活躍している方の話が聞けて良かったです。今までグローバル社会ということを聞いてもピンと来なかったけれども、少しは実感が持てたと思います。
私は将来、看護師になりたいと思っています。しっかり働きながら結婚もして、子供も産みたいなあと思いました。理系女子として、もっともっと頑張って好奇心を持っていっぱいたくさんの事を吸収していきたいと思っています。
世界でも女性がたくさん活躍していることが分かった。
夢と言う面で、他の学部のことを聞けて良かった。大学に入ってその学部を選んでも、他の学部からでも同じところに就けることを知った。将来のことを考える良いきっかけになった。
女性でも、結果を出せる人はちゃんと認めてもらえるということを知って安心した。
学部は違っても同じところに就職できるということがはっとさせられました。理系女子の現状が少しわかった気がします。
良かったと思います。
工学部に興味を持てた。
日本人は世界的にも高等教育を受けているにも関わらず、積極性が足りないのだと知りました。
自分の将来を考える良いきっかけになりました。良かったと思います。
面白かった。共感することも多かった。「絶対っていう道がない」っていうのがすごく心に残った。
女性研究者について良く知ることができて良かった。
女性の活躍する場がたくさんあるというのを感じた。
少し工学部に興味を持てた。
企業の女性に対する待遇は変わってきていて、もっと積極的に女性が活躍しなければならないと思った。将来、世界の人と互角に渡り合えるように、挑戦していきたいと思った。
積極的な行動が大事だなと思った。
分かりやすい講演会だった。今後の自分の進路選択に活かしていけるような話ばかりだったのでとてもよかった。
女性研究が今どういう立場にいるのかが分かった。
将来に活かそうと思った。
理系と言っても様々な仕事があることが分かりました。女性がもっと社会で活躍できるといいと思いました。
進路について考え直すきっかけになって良かった。
理系への道、夢の実現の中に気になる項目がいくつかあった。特に話の中にあった、人口が増えた時、食物をどうやって増やすのかというのが気になった。光合成や植物には興味があるので大学で調べてみたい。

男性だけが働くのではなく、女性も働き、意見を交換できるようになって欲しいと思う。
1つの学部に絞って話を聞く方が良かった。
夢を諦めないことの大切さが分かった。私は今、進路を迷っているけど、もう少し自分を尊重して興味の持っている者について調べようと思った。
満足です。
色々な視点でお話を聞けて良かったです。
すごく良かったです。
女性が働く場はたくさん増えていることを知ったので、どうせ働くなら自分の興味のある分野に進んでいきたいと思った。
将来、自分がどのような道を進めばよいのかを考える良い機会になったと思う。
理系の女子の活躍の場がよく分かって良かったです。工学部の事はあまり視野に入れていませんでしたが、楽しそうだなと思いました。
貴重なお話ありがとうございました。
良い自慢話が出来るというのは、それだけの結果・自信があるからこそと言うのを感じました。
勉強がんばります。
理系は女性でも活躍できる場だということが分かった。やっぱり英語が大切なんだと思った。

○菅原先生に対して質問等

Q: 将来農学系に進みたいと思っているのですが、それでも英語はしっかりした方が良いのか。国際会議は具体的にどのようなことを話されているのか。理系に進むと大学は忙しいと聞いたことがあるが、どれくらい忙しいのか。(登校・帰宅時間とか)。このような講座、ありがとうございました。 A: 将来どのような道に進むことになっても英語は重要だと思います。理系/文系、外資系会社、日本資本の会社、官公庁にかかわらず英語は必修です。国際会議は普通、一人15分〜20分ぐらいで研究の論文発表をして、その後英語での質疑になります。その会議での招待スピーカーだと一時間ぐらいはなしです。また各テーマごとにグループで議論することもあります。もちろんすべて英語です。 夜には普通パーティーがありますが、その会話はもちろん英語なので英語をはなせないと言壁の花になります(笑)。 大学の授業は9時ごろから始まって、5時ぐらいまでです。
Q: 理系に進んだら学んでおくべきことは何ですか。進路について考える上で、気を付けることは何かありますか。 A: 忙しいといわれているのは、多分研究実験をすると夜遅くまでかかるのではないかと思います。実験、研究というのは、自分で目標を定めるので、短時間で終わろうと思うと、いくらでも手をぬけますし、つきつめて気がすむまでやろうと思うと時間がかかるということではないかと思います。これはどんな分野でも同じことで、もし文系を選択したとしても、あれもこれも調べようしたり、じっくり考えようすると時間はかかります。つまり自分が設定する目標の高さだと思います。
Q: 高度な学習をしているのに活躍できていないのはなぜか知りたいです。 A: 高度な学習というのを何をさしているのかわかりませんが、”長時間労働/研究/努力しているのに成果があがらない、認められない”ことと仮定してお答えします。自分自身は一生懸命努力しているのに、成果があがらないということは多々あります。いい結果を出しているのに、なぜか周りからそれほど認められないということもよくあります。私自身もよくありました。そのような場合、目標をもう一度考えてみたり、やり方をかえてみたり、周りの人をみわたしてみたり、冷静に、客観的に自分がしていることを見直すことが大事だと思っています。人は自分自身のことを客観的にみることができません。 それでもだめな場合は、時間をおくことも大事だと思います。今は私の番ではないけど、いつかは”My Day”がくると。楽観的でしょうか(笑)
Q: 漁師になるとしても水産学部に入った方がいいのでしょうか？ A: これからの漁師という職種はただ、海にいて魚をとるというだけではなりたないと思います。養殖方法の研究、海洋汚染の問題、海洋気象など、幅広い知識が必要になると思います。ここ5年ぐらいという短期間だけで考えるのではなく、50年ぐらいの長いスパンで将来のことを考えてください。
Q: 理系は研究なしでは成り立たないものなのか A: そんなことはまったくありません。私は理学部物理学科卒ですが、システムズエンジニアとして働く場合、伝統的な意味の研究はありません。それよりも、技術をベースにした人と人とのコミュニケーション能力がより求められます。また、エバンジリストと呼ばれる、沢山の技術者の共感を得る、人間的な魅力も必要となります。イノベーションという言葉がよく使われますが、それは一人の発明・発見だけでは創りだすことが出来ません。ビジネスや社会で、沢山の仲間が協力して造りだすことが重要になります。

Q: 宇宙に関わるご友人がいらっしゃるとおっしゃっていて、その分野にとっても興味があるので詳しくお聞きしたかった。 A: 少し突き放した言い方で申し訳ありませんが、JAXAのホームページをじっくりみてください。 http://www.jaxa.jp 宇宙関係の研究や大学情報、採用情報などいっぱい掲載されています。 自由奔放に、ご自身が沢山の将来の仲間たちと、直接、夢を共有してください！
Q: 医者になるために今やっておくべきことはありますか。 A: 自分自身に自信を持つことが出来る、専門的な知識を得られるということ。 そして、その知識を生かすための論理的な思考方法を学べるということです。物事を論理的に考えることができるということは、その後の人生のいろいろな場面にとっても役にたつと思っています。
Q: 薬開発の研究をしたいのですが、もし工学部か理学部から選ぶとしたら、先生はどちらの方がおススメですか。 A: 私は薬学は詳しくないので、東大の理学部(化学、博士)を卒業して、その後国立の研究所、外資の製薬会社で働いた女性の方に聞いてみました。下記が彼女からの答えです。 “工学部、理学部での授業では、薬に関する講義はありません。私が、東京医科歯科大学教養部で教えていた時、医学部でも薬の開発の授業は、製薬会社からの講師を招いてやっていました。私は、製薬会社で7年間抗がん剤の開発を担当していたので、選択授業で1コマの講義をしていました。 しかし、理学部で分子生物学を専攻し、卒業後製薬会社に入った方を多く知っていますが、薬学部卒の方と比べると、仕事ができるまでの導入に時間がかかります。”
Q: 日本が中国に負けない為にはどうすればいいですか。理系で使う英語はどのように勉強すればよいですか。 A: 博士号取得の問題だと受け止めさせていただきます。 圧倒的な人口比と新興国対成熟国の勢いを考えると、博士号数の成長率の点でも日本があらゆる面で不利なようにも見えます。しかし歴史的に、人口超大国の中国に対して日本は決断と実行のスピードの点で優れ、結果的に常に中国の前を走ることが出来ました。明治維新などがその典型ですね。しかしこの20年近くは長い間のお休みになってしまっていました。ところが何が幸いかはわからないもので、最近の厳しい国際環境の変化のお蔭で日本もやっと目が覚めつつあります。スピードを取り戻すためには、なんでもありの模様眺めを止めて、みんなの希望や努力の目標を絞りこみ、チームワークの力を最大限に発揮する必要があります。研究開発や教育には沢山のお金が必要ですが、一部の人が好き勝手をしていては本当のチームワークを発揮することは出来ません。みんなで夢を共有して、力を合わせてダッシュする必要があります。明治維新のころは、“末は博士か大臣か”、と単純なキーワードを打ち立てて、みんなで頑張ったようですが、今回は、おしゃべりは大臣に任せて、“りけじょ”が博士号の風船に夢を一杯積み込むことが、競争への出発になります。
Q: 英語ができるようになるには？ A: 英語に関しては、文系、理系の差はあまりありません。グローバルな時代にはとても大切です。 ただ理系では、専門語(technical term)という共通単語があるので、一般的な会話よりも楽になります。会話の内容そのものが重要なので、極端な場合は筆談で押し通す先輩もいました。 いずれにしても、その内容を共有するためには、出来る限り論理的であること、が重要になります。
Q: 12月22日地球滅亡と言う都市伝説を信じますか？ A: 残念ながら(？)、地球滅亡という説は信じません。 12月22日がマヤ歴の5129年の最後の日であるだけで、翌日はまた新しい周期の1日目だというだけだと思います。とはいえ、その周期と暦、そしてそれが発明・発見された背景にはとても興味があります。私は科学的な意味で全く素人なのですが、好奇心は一杯です。マヤ文明ではとても天文学が発達していたこと、そしてこの日は地球、太陽、月、および地軸が直列になるらしい、ということなどを考え合わせると、何かワクワクしてきます。今年は太陽活動がとても活発だし、そこに関係があるのかも、とか、あれこれ考えてしまいます。

高松第一高等学校の皆さん、ご協力ありがとうございました。